

Mate NX

(Windows NT 4.0インストールモデル)



はじめに

お読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

Windows NT 3.51インストールモデルの場合は、先に『ご利用にあたって』をご覧ください。

Windows NT 4.0インストールモデルの場合は、まず本書の手順通りに操作してください。

なお本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。

操作の流れ

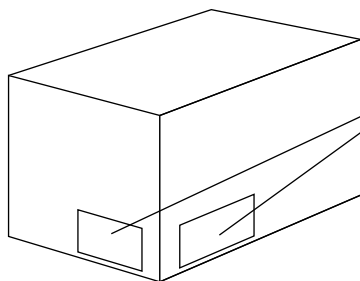
- 1 添付品の確認 2
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
- 2 設置 12
設置する場所を決めます。
- 3 添付品の接続
使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページをご覧ください。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。
省スペース型の場合 14
デスクトップ型の場合 25
ミニタワー型の場合 34
- 4 Windowsのセットアップ 43
はじめて電源を入れるときには、自分の名前などを登録して、Windowsをセットアップします。
- 5 98OFFICIAL PASSメンバーへの登録(ユーザ登録) 49
正規ユーザの登録をします。
- 6 マニュアルの使用方法 50
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
- 7 使用する環境の設定と上手な使い方 55
使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。

1

添付品の確認

型番を控える

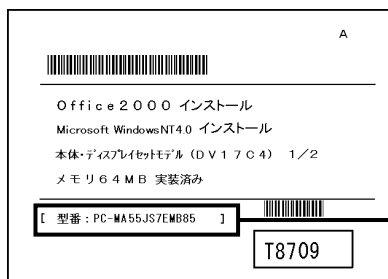
梱包箱に貼ってあるステッカーに記載されているスマートセクション型番、またはフリーセクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。



ステッカーは梱包箱側面
2ヶ所に同じ物が貼りつ
けられています。

型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

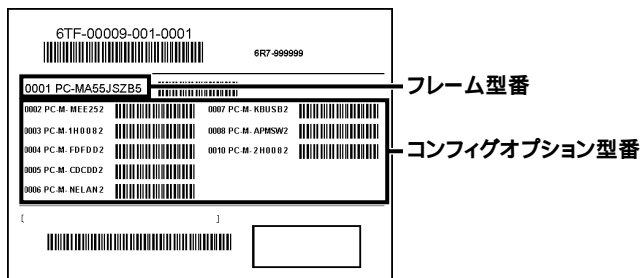
■ スマートセクション型番が記載されているステッカーの場合



スマートセクション型番

「スマートセクション型番を控える (P.3)へ進んでください。

■ フリーセクション型番が記載されているステッカーの場合

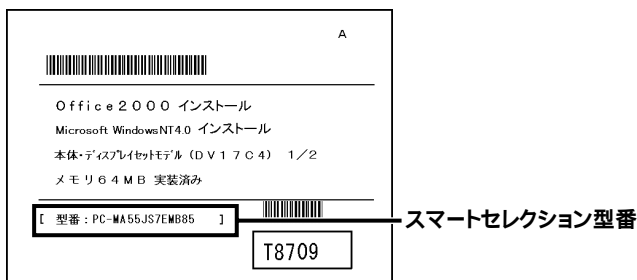


「フリーセクション型番を控える〔P.5〕へ進んでください。

スマートセクション型番を控える

スマートセクション型番を控えめす。控えめ終わったら、「添付品を確認する〔P.9〕へ進んでください。

❶ スマートセクション型番を次の枠に記入する



PC-MA 5

□の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型番	クロック周波数
	46	466 MHz
	50	500 MHz
	55	550 MHz
	60	600 MHz

CPUの種類を表しています。

✓	型番	CPUの種類
	H	Intel® Celeron™ プロセッサ
	J	Pentium® III プロセッサ

本体の型を表しています。

✓	型 番	本体の型
	C、LまたはZ	省スペース型
	M	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

✓	型 番	ディスプレイ
	5	15型CRTディスプレイ(DV15A3)
	7	17型CRTディスプレイ(DV17C4)
	E	18型広視野角TFT液晶ディスプレイ(F18S1W)
	G	15型広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S32)
	N	15.4型高精細TFT液晶ディスプレイ(F15R42W)
	R	15型TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15T42)
	Y	14.1型TFTデジタル液晶ディスプレイ(F14T52)
	Z	な し

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

✓	型 番	選択アプリケーション
	B	なし
	E	Office 2000 Personal
	M	一太郎 10・花子10バック & 1-2-3 2000

3.5インチベイ、5インチベイに標準内蔵されているファイルベイ用内蔵機器とキーボードの種類を表しています。

✓	型 番	フロッピーディスク関連	光ディスク関連	キーボード
	4	な し	な し	PS/2 109キーボード
	5	な し	な し	USB小型キーボード
	6	フロッピーディスクドライブ	CD-RWドライブ	PS/2 109キーボード
	7	フロッピーディスクドライブ	CD-RWドライブ	USB小型キーボード
	8	フロッピーディスクドライブ	CD-RWドライブ	USB98配列キーボード
	9	な し	な し	USB98配列キーボード
	B	フロッピーディスクドライブ	CD-RWドライブ	USB 109キーボード
	D	スーパーディスクドライブ	CD-RWドライブ	USB 109キーボード
	E	スーパーディスクドライブ	CD-RWドライブ	USB小型キーボード
	F	スーパーディスクドライブ	CD-RWドライブ	PS/2 109キーボード
	G	スーパーディスクドライブ	CD-RWドライブ	USB98配列キーボード
	H	フロッピーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	USB小型キーボード
	L	スーパーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	USB 109キーボード
	M	フロッピーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	USB 109キーボード
	S	スーパーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	USB98配列キーボード
	T	フロッピーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	PS/2 109キーボード
	U	スーパーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	PS/2 109キーボード
	V	フロッピーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	USB98配列キーボード
	W	スーパーディスクドライブ	CD-ROMドライブ	USB小型キーボード
	Z	な し	な し	USB 109キーボード

メモリの容量を表しています。

✓	型 番	メモリ容量
	B	64MB
	C	96MB
	D	128MB
	H	256MB

ハードディスクの容量とマニュアルの種類を表しています。

✓	型 番	ハードディスク容量	マニュアルの種類
	6	6.4 GB	印刷マニュアル
	8	8.4 GB	
	C	13.0 GB	
	F	20.0 GB	
	T	20.0 GB	電子化マニュアル
	U	13.0 GB	
	W	8.4 GB	
	Y	6.4 GB	

上記の ~ のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次に「添付品を確認する」(P.9)に進んでください。

フリーセクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、「添付品を確認する」(P.9)へ進んでください。

❶ フレーム型番を次のチェック表にチェックする

6TF-00009-001-0001

6R7-999999

0001 PC-MA5JSZB5

0002 PC-M-BEE252

0003 PC-M-1H0082

0004 PC-M-FDFD02

0005 PC-M-CDC002

0006 PC-M-NELAN2

0007 PC-M-KBUS02

0008 PC-M-APMSW2

0010 PC-M-2H0002

フレーム型番

PC-MA ZB5

フレーム型番に記載されている各桁の英数字の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型 番	クロック周波数
	46	466 MHz
	50	500 MHz
	55	550 MHz
	60	600 MHz

CPUの種類を表しています。

✓	型 番	CPUの種類
	H	Intel® Celeron™ プロセッサ
	J	Pentium® III プロセッサ

本体の型を表しています。

✓	型 番	本体の型
	C、LまたはZ	省スペース型
	M	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

② コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

コンフィグオプション型番

なお、次のコンフィグオプション型番のうち、～ はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(必須)。～ は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます(選択)。また、ステッカーに記載されているコンフィグオプション型番は順不同になっています。

コンフィグオプション型番に記載されている各桁の英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB□□□1はキーボードの種類を表しています。(必須)

✓	型 番	キーボードの種類
	98U	USB 98配列キーボード
	PS2	PS/2 109キーボード
	SMU	USB 小型キーボード
	USB	USB 109キーボード

PC-M-1H□□□2は1台目のハードディスクドライブの容量を表しています。(必須)

✓	型 番	ハードディスク容量
	006	6.4GB
	008	8.4GB
	013	13.0GB
	020	20.0GB

PC-M-ME□□□2はメモリの容量と種類を表しています。(必須)

✓	型 番	メモリの容量と種類
	E06	ECCあり64MB (100MHz)
	E09	ECCあり96MB (100MHz)
	E12	ECCあり128MB (100MHz)
	E19	ECCあり192MB (100MHz)
	E25	ECCあり256MB (100MHz)
	N06	ECCなし64MB (100MHz)
	N09	ECCなし96MB (100MHz)
	N12	ECCなし128MB (100MHz)
	N19	ECCなし192MB (100MHz)
	N25	ECCなし256MB (100MHz)

PC-M-CD□□□2は5インチベイに搭載される1台目のファイルベイ用内蔵機器の種類を表しています。(MA46H/Zはなし、その他の機種は必須)

✓	型 番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD	CD-ROM ドライブ
	CDR	CD-RW ドライブ

PC-M-FD□□□1は3.5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵機器の種類を表しています。(MA46H/Z以外の省スペース型は必須、その他の型はなし)

✓	型 番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	FDD	フロッピーディスクドライブ
	SDD	スーパーディスクドライブ

PC-M-NE□□□2はネットワークボードの種類を表しています。(MA55J/S、MA50J/SでLANボードの場合はなし、その他の機種は必須)

✓	型 番	ネットワークボードの種類
	LAN	LANボード
	LAH	
	MDM	FAXモデムボード

PC-M-GR□□□1はグラフィックアクセラレータボードを表しています。(MA55J/S、MA50J/S、MA60J/M、MA50J/Mは必須。その他の機種はなし)

✓	型 番	グラフィックアクセラレータボード
	S4P	Savage4™ PRO

DV□□□□、F1□□□□□□はディスプレイの種類を表しています。
(選択)

✓	型 番	ディスプレイの種類
	DV15A3	15型CRTディスプレイ(DV15A3)
	DV17C4	17型CRTディスプレイ(DV17C4)
	F14T52	14.1型TFTデジタル液晶ディスプレイ(F14T52)
	F15R42W	15.4型高精細TFT液晶ディスプレイ(F15R42W)
	F15S32	15型広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S32)
	F15T42	15型TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15T42)
	F18S1W-M	18型広視野角TFT液晶ディスプレイ(F18S1W-M)注意

注意 ディスプレイの箱、ディスプレイの保証書、ディスプレイの銘板、ディスプレイ添付のマニュアルにはF18S1Wと書かれていますがF18S1WとF18S1W-Mは同じ商品です。

PC-M-AP□□□2は選択アプリケーションの種類を表しています。
(選択)

✓	型 番	選択アプリケーションの種類
	JST	一太郎10・花子10バック & 1-2-3 2000
	MSW	Office 2000 Personal

PC-M-ES□□□1はESMPROを表しています。(選択)

✓	型 番	ESMPRO
	ESM	ESMPRO

PC-M-SC□□□2はSCSIボードを表しています。(選択)

✓	型 番	SCSIボード
	UWS	Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)

PC-M-2H□□□2は2台目のハードディスクドライブの容量を表しています。(選択)

✓	型 番	ハードディスクドライブ容量
	008	8.4GB
	013	13.0GB
	020	20.0GB

PC-M-ST□□□1は5インチベイに搭載される2台目のファイルベイ用内蔵機器の種類を表しています。(省スペース型はなし、その他の型は選択)

✓	型 番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	SDD	スーパーディスクドライブ
	ZIP	ZIP ドライブ

PC-M-MN□□□1は、本機に添付するマニュアルの種類を表しています。(省スペース型は選択、その他の型はなし)

✓	型 番	マニュアルの種類
	STD	印刷マニュアル

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

❶ 箱の中身を確認する

P.3 ❶またはP.5 ❶、P.6 ❷の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。P.9～P.11の□は各々1つにパックされています。

□ 保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

□ はじめにお読みください(このマニュアルです)

- 本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMate NXを指します。)
- 添付品収納箱
- キーボード
- マウス



□ 選択アプリケーション

Office 2000 Personal^{*1}、一太郎10・花子10パック^{*2} & 1-2-3 2000、およびESMPRO^{*3}
箱の中身は、選択アプリケーションの箱の中にあるマニュアルをご覧ください。

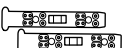
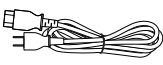
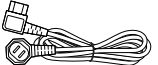
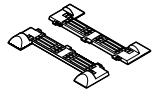
(P.4 ❶、またはP.8 ❷、で選択アプリケーションの種類がわかります)

^{*1} Microsoft® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook® 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)

^{*2} 一太郎10・花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)

^{*3} ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1, DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0/Ver 5.2/Ver 6.0(ライセンスFD)

② 添付品収納箱の中身を確認する

☐ アース線 	ミニタワー型・デスクトップ型 の場合添付 ☐ 電源ケーブル	省スペース型の場合添付 ☐ サービスコンセント付 電源ケーブル
デスクトップ型の場合添付 ☐ 5インチベイ ガイドレール(2枚) 		
☐ ネジ(4個)	ネットワークボードの種類が FAXモデムの場合添付 ☐ モジュラーケーブル	省スペース型の場合添付 ☐ スタビライザ(2個)
☐ セキュリティプレート  ☐ ネジ(1個)		 ☐ スタビライザ取り 付け用ネジ(2個)



☐ 98OFFICIAL PASSお客様登録申込書
☐ 安全にお使いいただくために
☐ 活用ガイド 再セットアップ編
☐ メンテナンス&サポートのご案内
☐ NEC PCあんしんサポートガイド
☐ 本機をお使いの方へ(MA46H/Sの場合添付)

☐ 活用ガイド ハードウェア編
☐ 活用ガイド ソフトウェア編
☐ ハードウェア拡張ガイド

印のマニュアルは、省スペース型の場合、「電子化マニュアル」をご覧になります。「電子化マニュアル」は「バックアップCD-ROM(OSを除く)」に入っています。また、「印刷マニュアル」(P.9 ②)がPC-M-MNSTD1を選択された場合は、「印刷マニュアル」も添付されています。

  マニュアル	☐ Microsoft® Windows NT®Workstation ファーストステップガイド ☐ Microsoft® Windows NT®Workstation Version 4.0 Disc(CD-ROM) ☐ Microsoft® Windows NT®Workstation Operating System Version 4.0 Setup Disk(FD) ☐ Microsoft® ユーザーカード ☐ 保証の制限と特約 ☐ Microsoft® Windows NT®Workstation Version 4.0日本語版使用許諾契約書
---	---





☐ ソフトウェアのご使用条件 / ソフトウェア使用条件適用一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)

☐ マイクロソフト ウィンドウズ NT サービス バック 5 CD-ROM

☐ システムインストールディスク (FD)

☐ バックアップCD-ROM (OSを除く) 用インストールディスク (FD)

☐ バックアップCD-ROM (OSを除く)

~ P.4 ①- が6、7、8、B、D、E、F、Gの場合、またはP.7 ②- がPC-M-CDCDR2の場合添付 ~



☐ Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM

~ P.8 ②- がPC-M-SCUWS2の場合添付 ~



☐ Adaptec AHA290x/291x/294x/349x/4944/AIC-78xx
PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0) ドライバディスク

③ ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

(P.4 ①- またはP.8 ②- でディスプレイのあるなし、種類がわかります)

④ 本体の背面にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

設置場所を決める



安全に関するご注意

添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。



感電注意

- 電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



発火注意

- 電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



けが注意

- ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ～35

湿度20%～80%

(ただし結露しないこと)

平らで十分な強度があり、落下のおそれがない

(机の上など)

✕ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだMate NXを指します。)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く

直射日光が当たる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保してください。キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは.....

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつかけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱いってください。

Zipドライブ使用上の注意

Zipドライブを搭載したデスクトップ型で、オプション製品「本体縦置き台(PC-MA-K09)」を使用する場合、縦置きではご利用できません。

3

添付品の接続

デスクトップ型の場合はP.25をご覧ください。

ミニタワー型の場合はP.34をご覧ください。

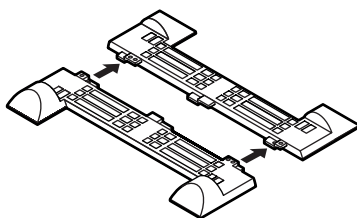
省スペース型の場合

スタビライザをセットする

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず図のようにスタビライザをスタビライザ取り付け用ネジで取り付けて設置してください。

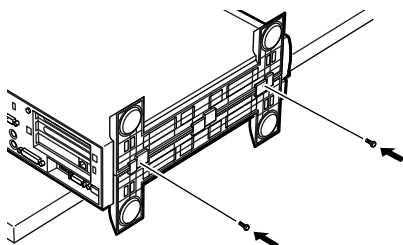
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、本体の上に約17kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

- ① 机の端などに本体を横置きに安定させる
- ② 2つのスタビライザを図のようにかみ合わせる

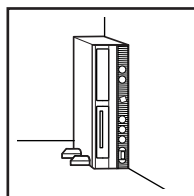
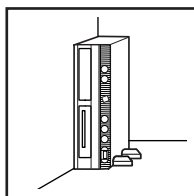


- ③ 本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付ける

本体を横に倒すときは、机やテーブルなどを傷つけないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをお勧めします。



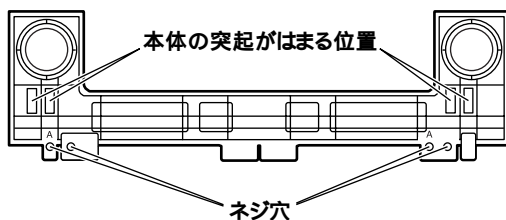
下図のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、1つのスタビライザを本体の、壁などと反対側の側面のみにセットすることができます。



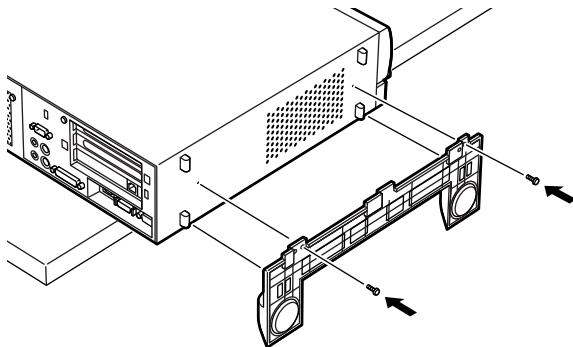
注意

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

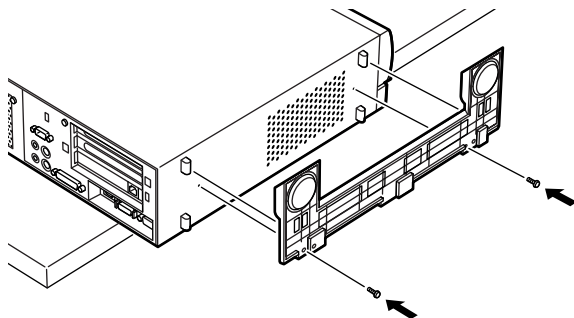
- ❶ 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる
- ❷ パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する



- ❸ 1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付ける
- 本体の右側にセットする場合



■ 本体の左側にセットする場合



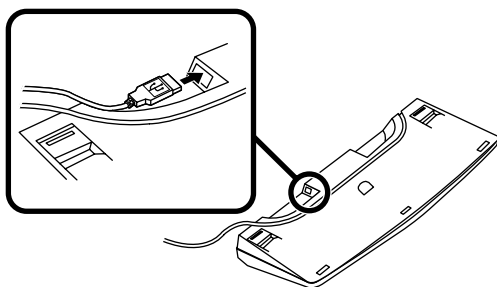
添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、**①**または**②**のどちらかで接続してください。

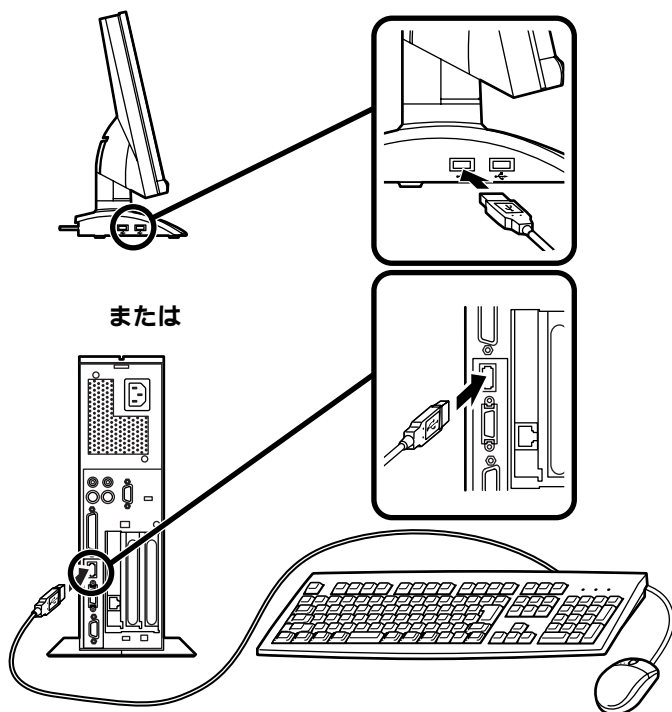
① USB接続のキーボード (P.4 **①**- が5、7、8、9、B、D、E、G、H、L、M、S、V、W、Zの場合、またはP.6 **②**- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の場合)

添付のマウスをキーボードに接続する



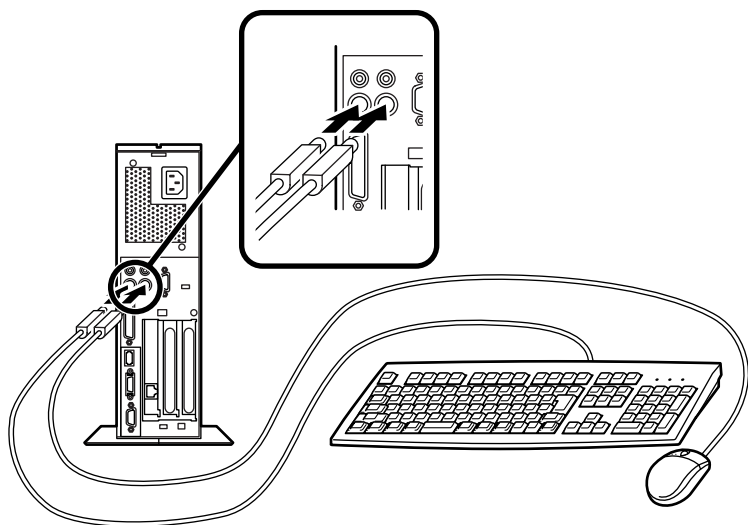
キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



②PS/2 109キーボード(P.4①- が4、6、F、T、Uの場合、または
P.6②- がPC-M-KBPS21の場合)

添付のマウス(緑) キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ
接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、①または②のどちらかで接続してください。

本体のアナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用できません。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

①CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ①-が5、7、E、Nの場合、またはP.8 ②- がDV15A3、DV17C4、F15R42W、F18S1W-Mの場合)を接続する場合

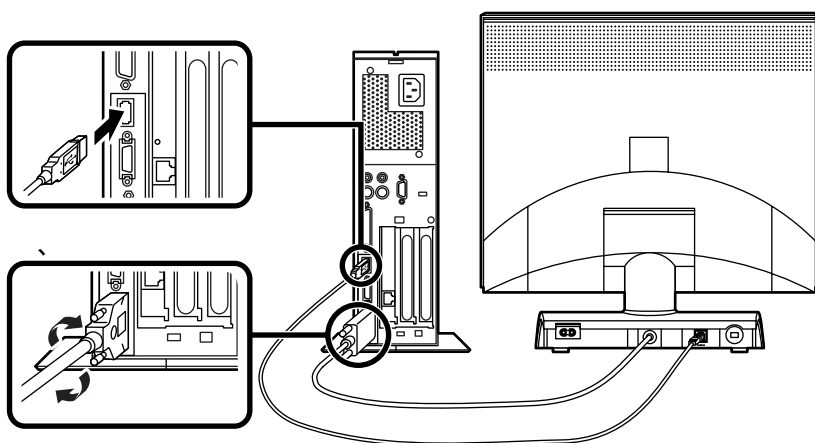
～ の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(□)とコネクタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



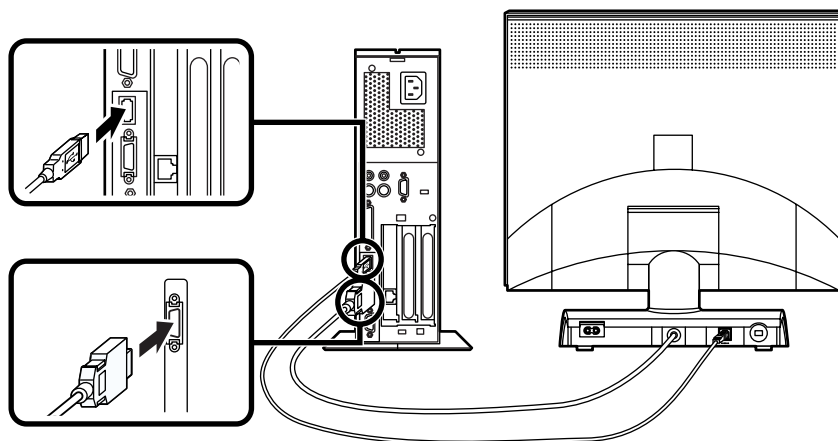
**②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ①- がG、R、Yの場合、または
P.8 ②- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合**

ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン()とコネクタの形状を確認して接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタルRGBコネクタに確実に、ロックされるまで手で押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



3 リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続します。

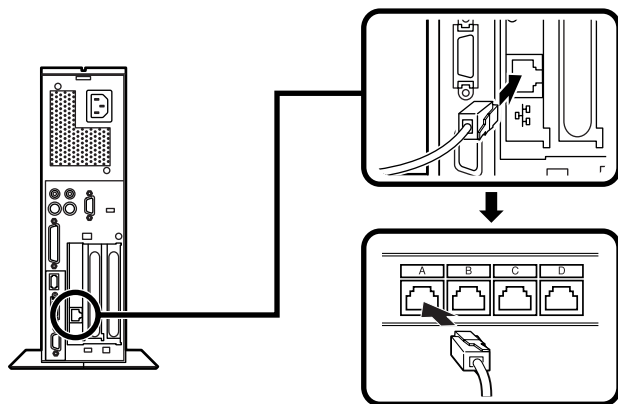
(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』FAXモデムボード』をご覧ください。接続前の確認を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

① リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示()に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



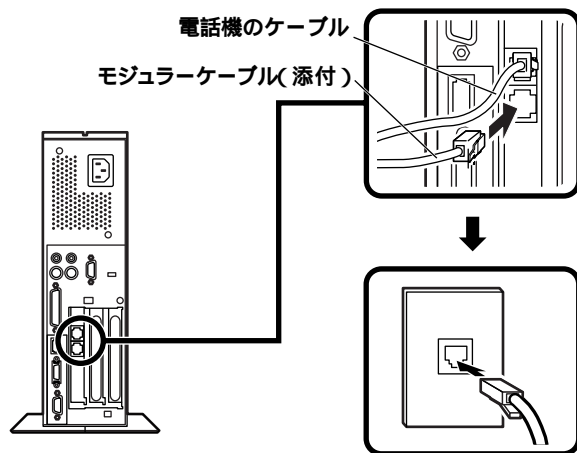
② モジュラーケーブルを接続する場合

- ・ 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線(以降、加入電話回線と呼びます)で受けています。
- ・ FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式の回線用のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- ・ FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド ハードウェア編』『FAXモデムボード』をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(☎)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを本体のアイコン表示(☐)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

本体に添付する、サービスコンセント付電源ケーブルをご使用になる前に、下記の注意事項をよく読んでから接続してください。



- サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は接続しないでください。消費電力の大きな機器などに接続すると、火災の原因となります。



- サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ足配線をしないでください。

サービスコンセントで供給できるのは3Aまでです。

次のページのイラストを見て①～③の順番に接続してください。

①アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

②ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストは液晶ディスプレイの場合です。CRTディスプレイの電源ケーブルの接続については、CRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

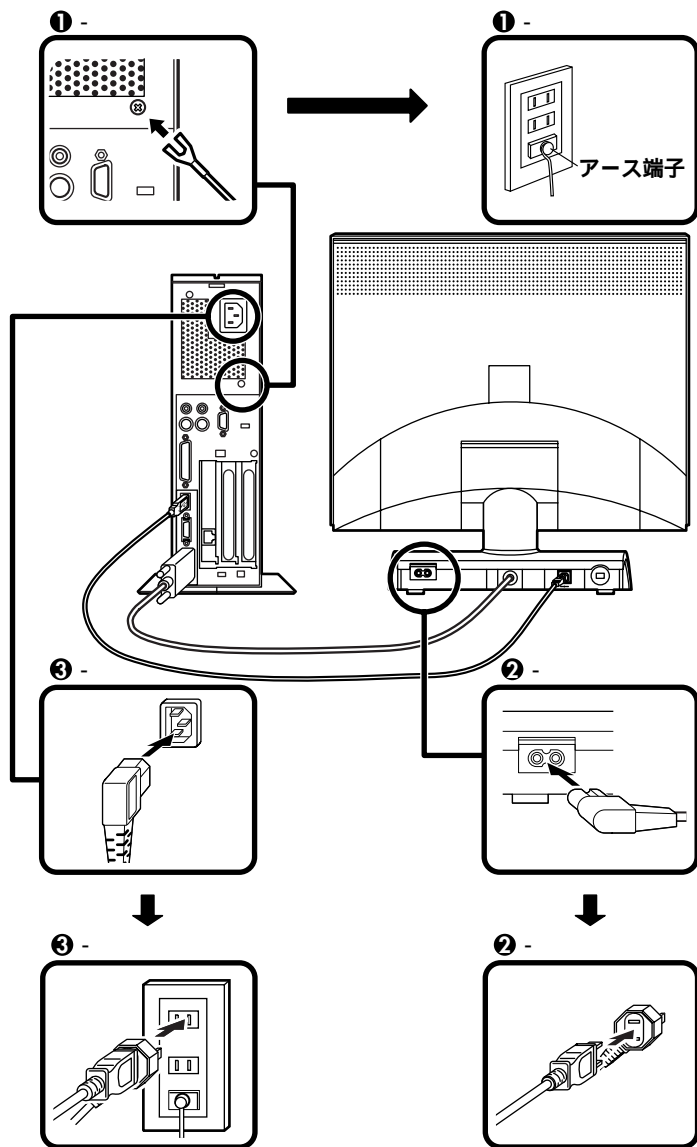
電源ケーブルのもう一方のプラグをサービスコンセントに差し込む

③本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。（故障ではありません。）



以上で添付品の接続は完了です。

P.43「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

省スペース型の場合はP.14をご覧ください。
ミニタワー型の場合はP.34をご覧ください。

デスクトップ型の場合

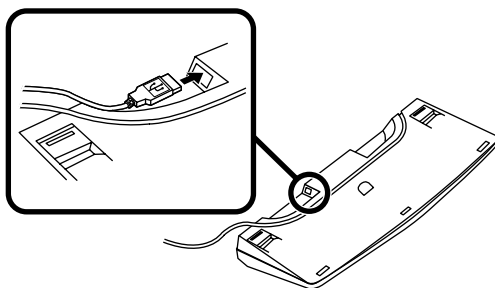
添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①または②のどちらかで接続してください。

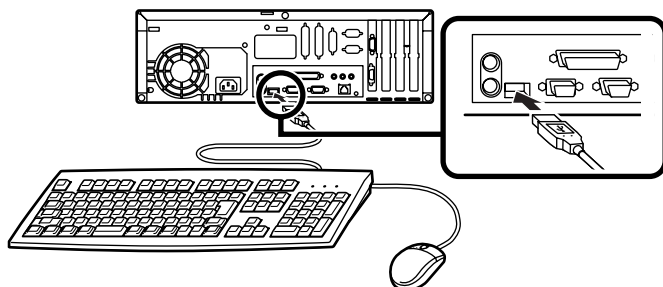
① USB接続のキーボード(P.4 ①- が7、8、B、H、M、Vの場合、またはP.6 ②- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の場合)

添付のマウスをキーボードに接続する

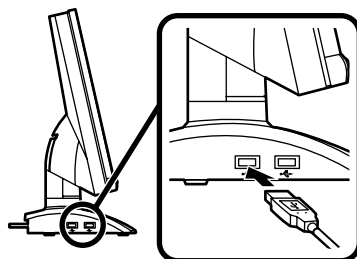


キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。

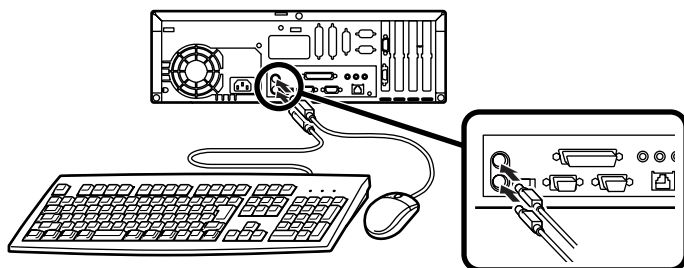


または



②PS/2 109 キーボード (P.4 ①- がG、Tの場合、またはP.6 ②- がPC-M-KBPS21の場合)

添付のマウス(緑)キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のどちらかで接続してください。

本体のアナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用できません。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ❶-が5、7、E、Nの場合、またはP.8 ❷- がDV15A3、DV17C4、F15R42W、F18S1W-Mの場合)を接続する場合

～ の順番に接続してください。

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります。機種とアナログRGBコネクタの位置を確認してから接続してください。

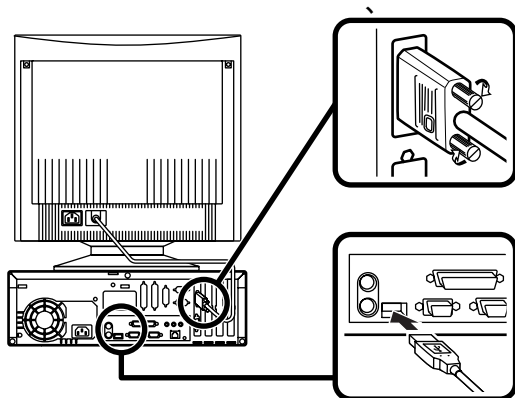
ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(□)とコネクタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

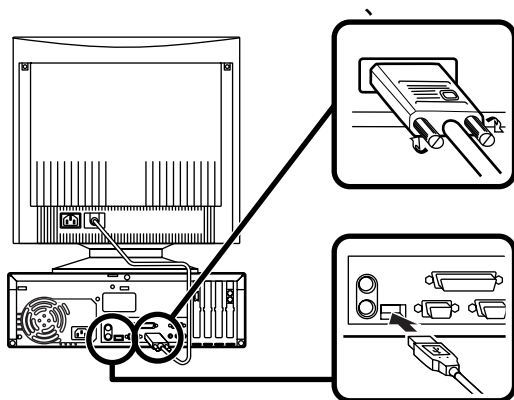
アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。

■ MA55J/S、MA50J/Sの場合



■ MA46H/Sの場合



② デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ①- がG、R、Yの場合、または P.8 ②- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

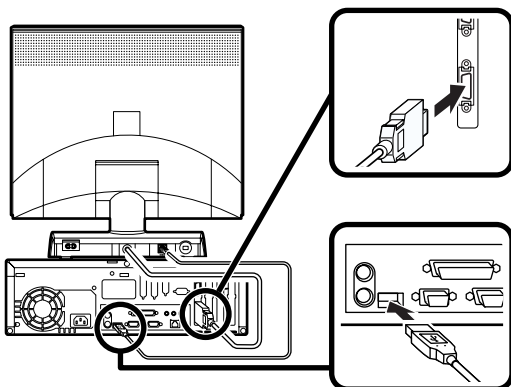
ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン()とコネクタの形状を確認して接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに確実にロックされるまで押し込んでください。

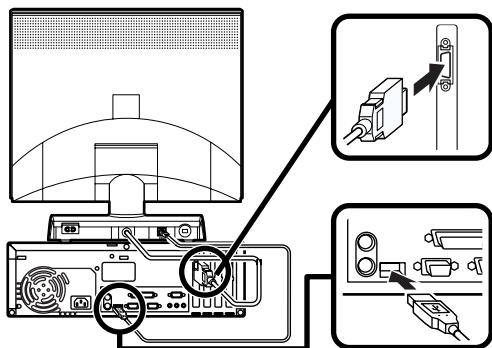
本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。

■ MA55J/S、MA50J/Sの場合



■ MA46H/Sの場合



3. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

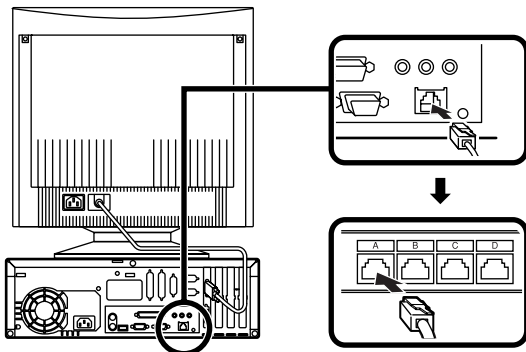
① リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

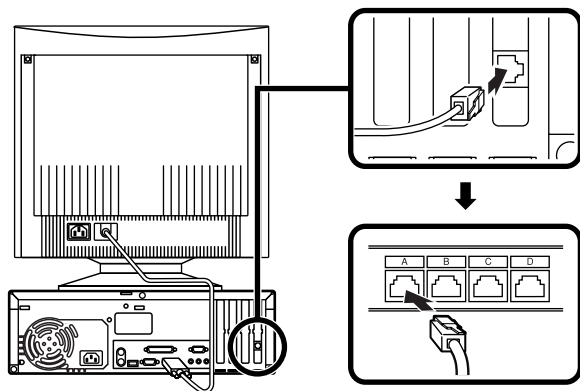
リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示()に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する

■ MA55J/S、MA50J/Sの場合



■ MA46H/Sの場合



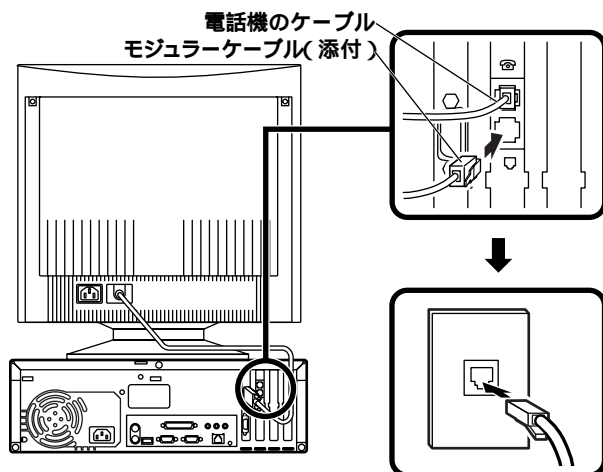
② モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(☎)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを、本体のアイコン表示(□)に従って接続する

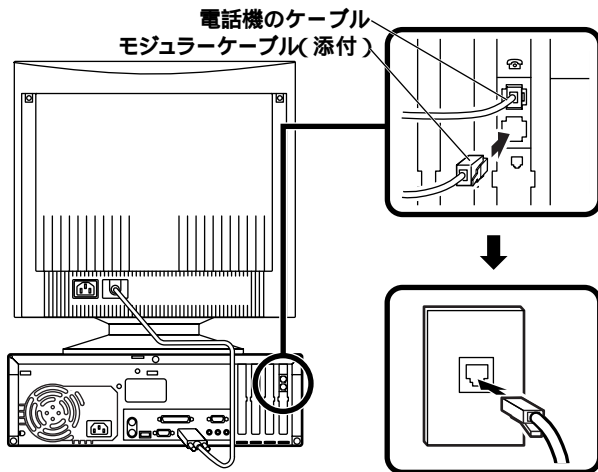
モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。

■ MA55J/S、MA50J/Sの場合



■ MA46H/Sの場合



4 アース線、電源ケーブルを接続する

⚠ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て、①～③の順番に接続してください。

①アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

②ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。液晶ディスプレイの電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

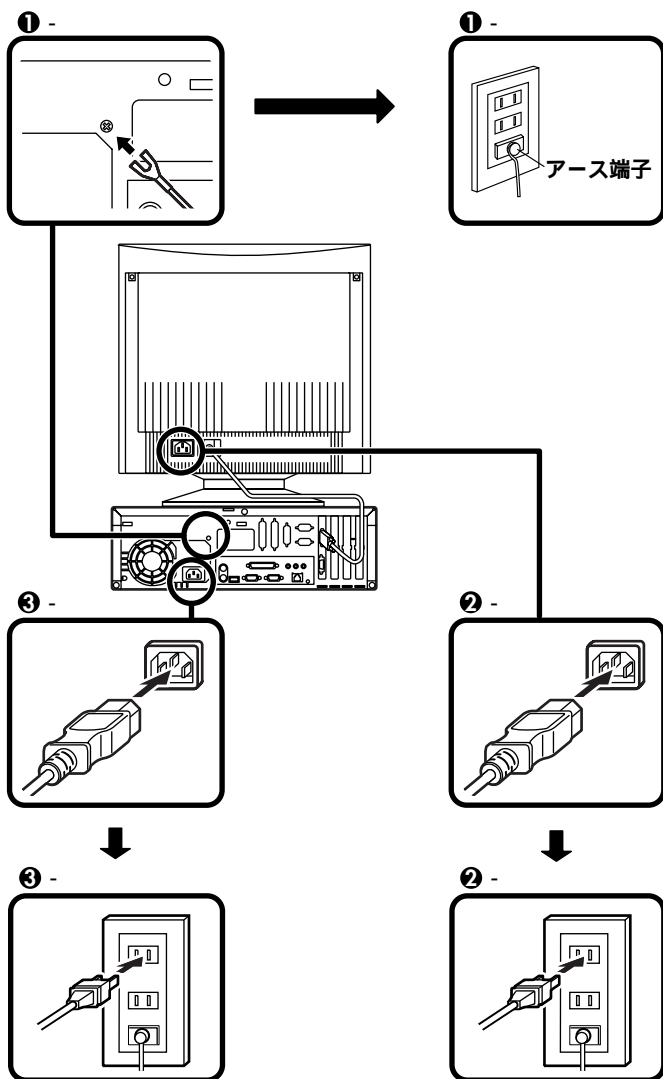
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

③本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。（故障ではありません。）



以上で添付品の接続は完了です。

P.43「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

省スペース型の場合はP.14をご覧ください。
デスクトップ型の場合はP.25をご覧ください。

ミニタワー型の場合

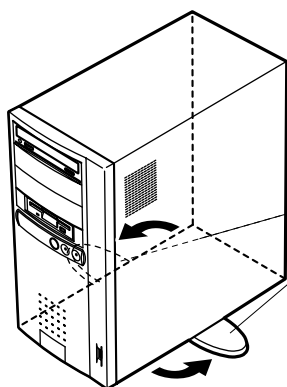
スタビライザをセットする

本体には、安定して設置するためのスタビライザという脚があります。スタビライザは梱包箱から出したままの状態では、本体底面にたたみ込まれています。転倒防止のため、このスタビライザを出して設置してください。



注意

本体はスタビライザを使用して、縦置きで使用してください。
横置きで使用する、故障の原因となります。



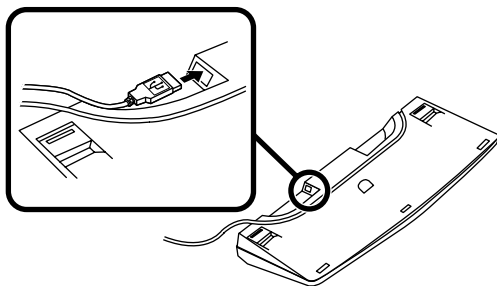
スタビライザは、先端を外側に
回して左右に引き出す

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①または②のどちらかで接続してください。

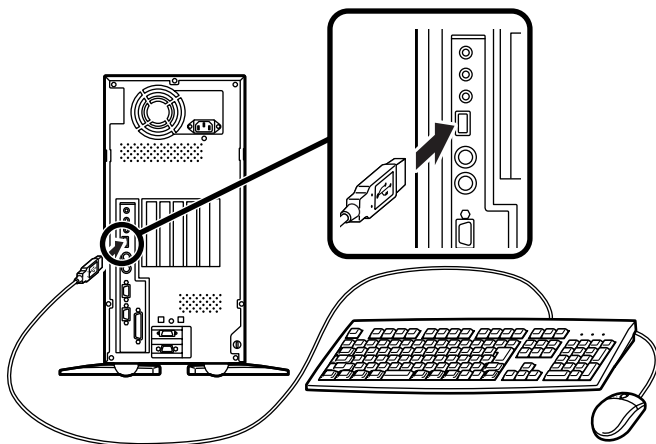
- ① USB接続のキーボード (P.4 ①- が7、8、B、H、M、Vの場合、またはP.6 ②- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の場合)

添付のマウスをキーボードに接続する

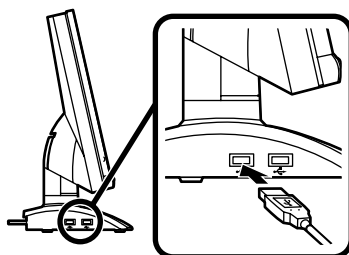


キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

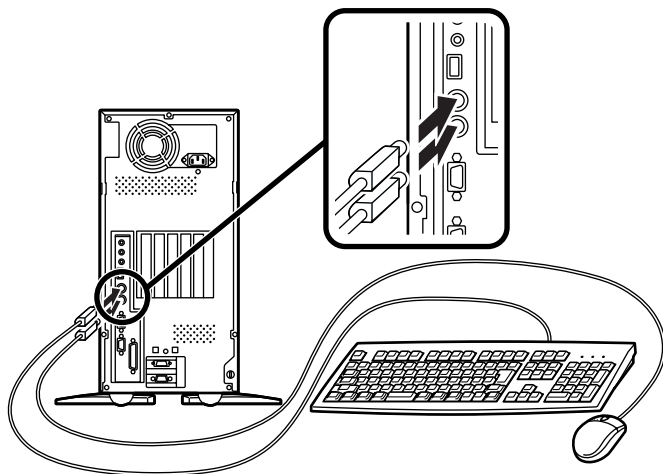
液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



または



- ② PS/2 109キーボード(P.4 ①- が6、F、T、Uの場合、またはP.6 ②- がPC-M-KBPS21の場合)
添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を同色のコネクタに接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、①または②のどちらかで接続してください。

本体のアナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用できません。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

①CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4①- 5、7、E、Nの場合、またはP.8②- がDV15A3、DV17C4、F15R42W、F18S1W-Mの場合)を接続する場合

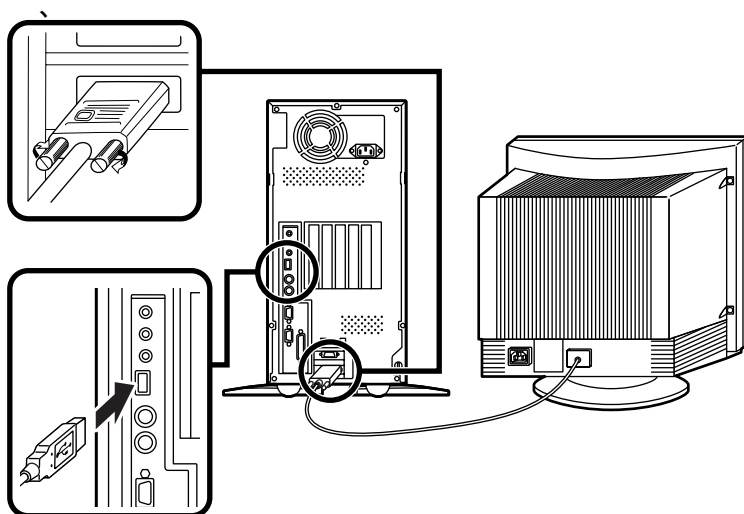
～ の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(□)とコネクタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



**②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ①- がG、R、Yの場合、または
P.8 ②- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合**

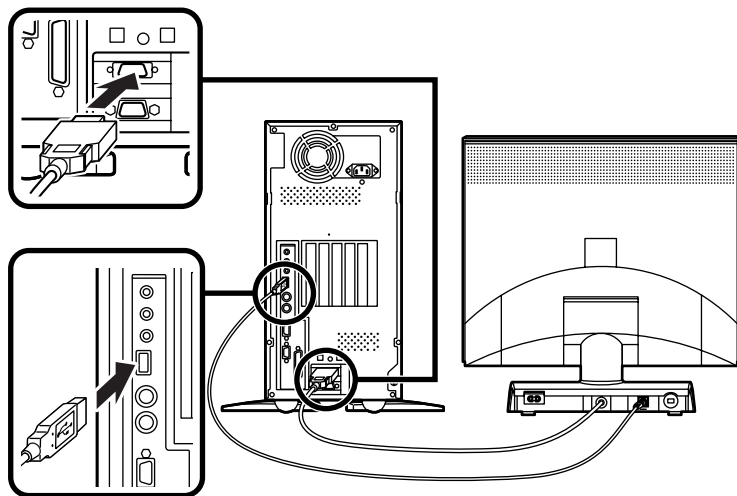
、 の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン()とコネクタの形状を確認して接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに確実に、ロックされるまで手で押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



3. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続します。

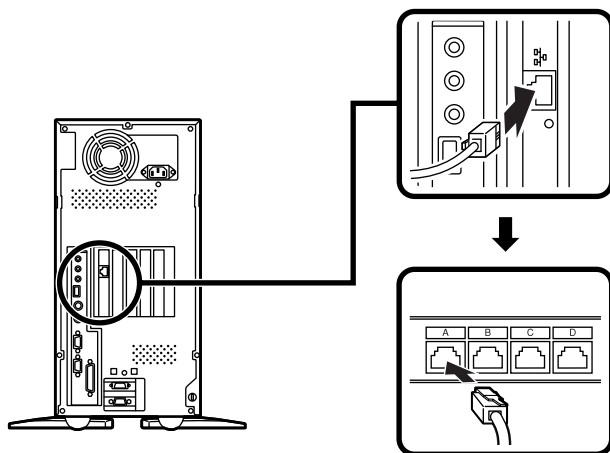
(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』FAXモデムボード』をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

① リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示()に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する

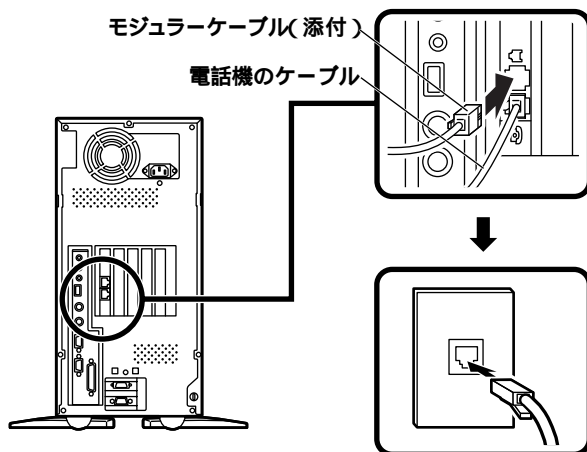


② モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(☎)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを、本体のアイコン表示(□)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

⚠ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



発火注意

- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



感電注意

- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

①～③の順番に接続してください。

①アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止める

コンセントのアース端子にアース線を接続する

②ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。液晶ディスプレイの電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

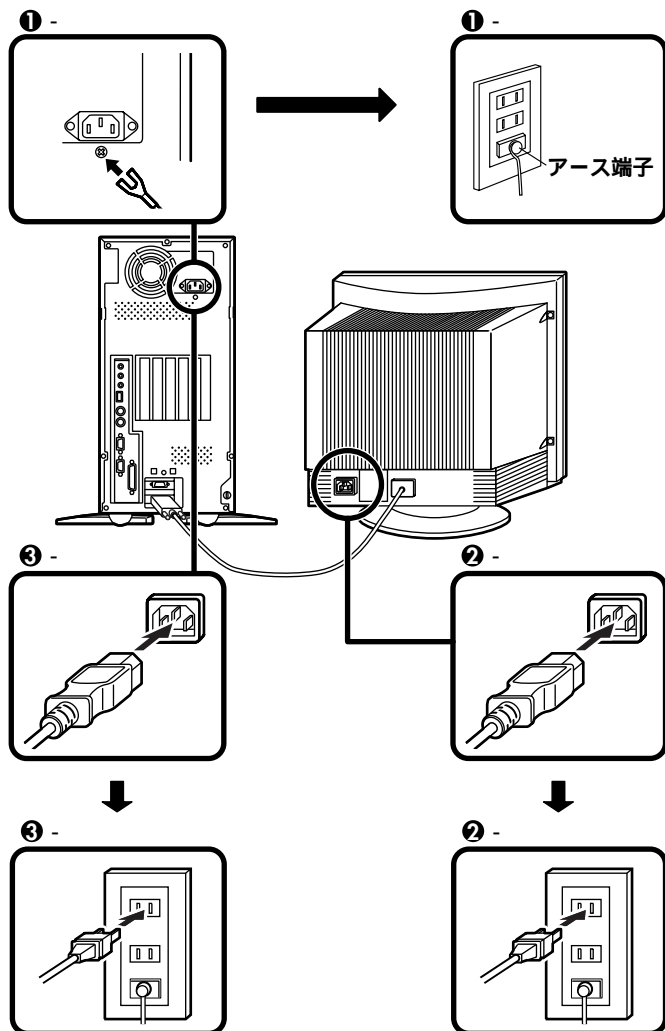
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

③本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。（故障ではありません。）



以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「**4** Windowsのセットアップ」へ進んでください。

4

Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、自分の名前などを入力するWindows NT 4.0のセットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分程度の時間がかかります。

セットアップをするときの注意

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない
この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先にWindows NT 4.0のセットアップ作業を完了させてから、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- ・ 途中で電源を切らない
作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

次のものを準備しておいてください。

- ・ 『Microsoft® Windows NT® Workstation
ファーストステップガイド』
セットアップの途中で、表紙に記載されているWindows NT 4.0の製造番号(プロダクト ID)が必要です。
- ・ 使用する人の名前
本機を使う人の名前を入力する必要があります。
登録する名前を決めておいてください。



Windows NT 4.0
の製造番号
(プロダクト ID)

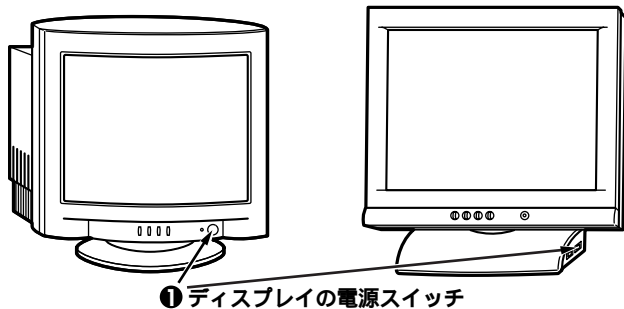
電源を入れる

①、②の順番に電源を入れてください。

① ディスプレイの電源を入れる

■ CRTディスプレイの場合

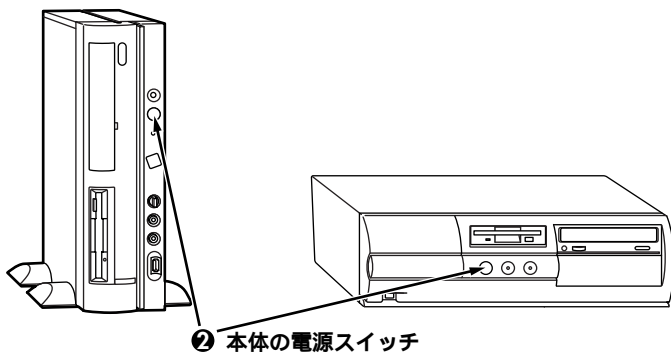
■ 液晶ディスプレイの場合



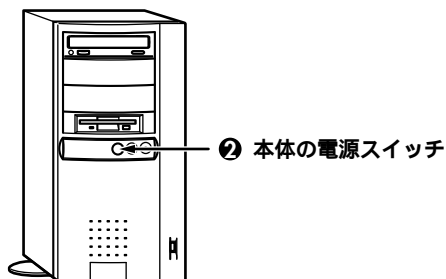
② 本体の電源を入れる

■ 省スペース型の場合

■ デスクトップ型の場合



■ ミニタワー型の場合



これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、後述の「セットアップ中のトラブル対策」(P.48)をご覧ください。

- ① 電源ランプが点灯して、しばらくすると「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示される

をクリックして続きを見る

読んだら「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「Windows NTセットアップ」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。

- ② 「名前と組織名」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。

変更するには、再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

- ③「登録」の画面が表示されたらプロダクト IDを入力する

プロダクト IDを入力

次の間違えやすい文字にご注意ください。

- ・ 1(イチ)と(アイ)
- ・ 8(ハチ)とB(ビー)
- ・ 0(ゼロ)とO(オー)
- ・ Q(キュー)とO(オー)

「次へ」ボタンをクリック

- ④「コンピュータ名」の画面でコンピュータ名を入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

本機をLANに接続して利用する場合は、コンピュータ名をネットワーク管理者にご相談ください。

「次へ」ボタンをクリック

- ⑤「管理者アカウント」の画面でパスワードを入力する

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。

パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

「次へ」ボタンをクリック

「Windows NTセットアップ」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。

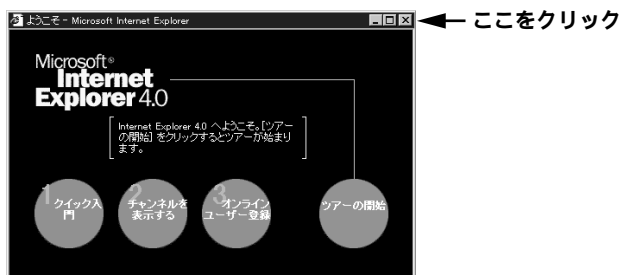
途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまで数分から10数分かかります。なにも操作せずにお待ちください。

- ⑥再起動の画面が表示されたら、「コンピュータの再起動」ボタンをクリックする

いったん画面が真っ暗になり、自動的に再起動されます。

- ⑦「ログオンの開始」の画面が表示されたら、キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押す

- ⑧ 手順⑥で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。
何も操作せずにお待ちください。
- ⑨ 次の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、**ⓧ**をクリック



これでWindows NT 4.0のセットアップの作業は終了です。

電源を切る

- ① 「スタート」ボタンをクリック
- ② 「シャットダウン」をクリック
- ③ シャットダウンを実行する
「シャットダウンする」をクリック
「OK」ボタンをクリック
自動的に電源が切れます。
- ④ ディスプレイの電源スイッチを切る

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- 電源を入れて、表示される画面をチェックする

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。

「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows NT 4.0は起動しません。

Windows NT 4.0を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了してください。

電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「● 電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

98OFFICIAL PASSメンバーへの登録(ユーザ登録)

添付の「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」をご覧になり、早めに98OFFICIAL PASSメンバー(登録ユーザ)への登録を行ってください。

登録には、3種類の方法があります。

- ・インターネットのホームページからの登録
「98OFFICIAL PASSお客様登録カウンター」
<http://www1.pc98.nec.co.jp/register/>
- ・FAX用紙による登録(添付の「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」)
- ・専用はがきによる登録(添付の「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」)

e-mailアドレスをご登録いただきましたお客様には、最新のドライバ情報をはじめとするさまざまな情報をお届けします(98MEMBER'S LETTER)。

6

マニュアルの使用方法

本機に添付されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。ただし、省スペース型をご購入の方は、「印刷マニュアル」が選択できます。添付形態がそれぞれ異なりますので、よく読んでからお使いください。

またマニュアル類はなくさないようにご注意ください。なくした場合は『活用ガイドソフトウェア編』の「PART3 トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルを利用する前に

MA46H/Sをご購入の方へ…

- 『本機をお使いの方へ』

MA46H/Sに関するシステム設定(BIOS設定)について記載しています。



各マニュアルの利用方法

印のマニュアルは、省スペース型の場合、「電子化マニュアル」をご覧ください。なれます。「電子化マニュアル」は「バックアップCD-ROM(OSを除く)」に入っています。「電子化マニュアル」の利用方法については、P.52「電子化マニュアルの利用方法」をご覧ください。また、「印刷マニュアル」(P.9 ②-がPC-M-MNSTD1)を選択された場合は、「印刷マニュアル」も添付されています。

- 『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。



- 『Microsoft® Windows® NTファーストステップガイド』

Windows NT 4.0の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。



- 『活用ガイド 再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。



- 『活用ガイド ハードウェア編』

本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定) について確認したいときにお読みください。



- 『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの削除/追加、他のOSをセットアップするときや、トラブルが起きたときにお読みください。



- 『ハードウェア拡張ガイド』

本機の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを行うときにお読みください。



- 『ATコマンド』(電子化マニュアル)

FAXモデムボードを搭載したモデルをご利用の方で、ATコマンドについて知りたいときにお読みください。

- ディスプレイのユーザーズマニュアル

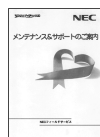
液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「**1** 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の前に、必ずお読みください。

- 選択アプリケーションのユーザーズマニュアル

モデルによって、Office 2000 Personal、一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000などのマニュアルが添付されています(P.2「**1** 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

- 『メンテナンス&サポートのご案内』

ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報について知りたいときにお読みください。



- 『NEC PCあんしんサポートガイド』

パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網について知りたいときにお読みください。



次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press/>

電子化マニュアルの利用方法

電子化マニュアル(PDFファイル)を利用する場合は、はじめにAcrobat Reader3.0Jを追加する必要があります。次の手順で追加してください。

1 .Acrobat Reader 3.0 Jの追加

NetPCモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュータのフロッピーディスクドライブ/CD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。

なお、フロッピーディスクドライブはAドライブとして割り当ててください。

- ① Windows NTを起動する
- ② CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブに本機に添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- ③ フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブに、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットする
- ④ 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- ⑤ 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- ⑥ 「インストールと削除」タブの「インストール」ボタンをクリック
- ⑦ 「次へ」ボタンをクリック
- ⑧ 「A:¥Nxsetup.exe」が表示されていることを確認したら、「完了」ボタンをクリック
- ⑨ 「Adobe Acrobat Reader 3.0 J」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック

- ⑩「Adobe Acrobat Reader 3.0 Jインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
 - ⑪「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
 - ⑫「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
 - ⑬「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- インストールが始まります。
- ⑭「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「終了」ボタンをクリック
- メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。
読み終えたら終了させてください。
- ⑮「セットアップが終了しました。」が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
 - ⑯フロッピーディスクとCD-ROMをドライブから取り出す
これで追加は完了です。

2.電子化マニュアルを見る方法

次の手順でAcrobat Reader 3.0Jを起動して、ご覧ください。

①「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→
「Acrobat Reader 3.0J」をクリック

②「ファイル」→「開く」をクリック

電子化マニュアルはバックアップCD-ROM(OSを除く)に次のファイル名で添付されています。

『活用ガイド ハードウェア編』 → ¥MANUAL¥NX活用HW編NT.PDF

『活用ガイド ソフトウェア編』 → ¥MANUAL¥活用SW編NT.PDF

『ハードウェア拡張ガイド』 → ¥MANUAL¥NXHW拡張.PDF

『ATコマンド』 → ¥MANUAL¥NXATコマンド.PDF

③ ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリック

電子化マニュアルが表示されます。



- ・ 必要に応じてハードディスクにファイルをコピーしてご利用ください。
- ・ 電子化マニュアルを印刷する場合は、ポストスクリプト対応の600dpi以上のページプリンタを推奨します。
- ・ 次のWebサイト(PICROBO)ではNEC製の電子マニュアルをダウンロードできるサービスを行っております。また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

<http://download.pc98.nec.co.jp/in/NX/index.htm>

PDFファイルのサイズが大きく、Acrobat Reader 3.0Jをインストールされている場合、Internet Explorer 4.0x及び5.0では開けない場合があります。その場合は、Acrobat Reader 4.0Jをダウンロードしてお使いください。

- ・ 「エクスプローラ」等で上記②のファイルをダブルクリックしても開くことができます。

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』および『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。また、MA46H/Sの場合は、『本機をお使いの方へ』とともにお読みください。

① 補足説明(Readmeファイル)を読む

本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルでは掲載していない機能について説明したファイルがあります。「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリックしてお読みください。

② システムスイッチの設定(電源スイッチの設定)

システムスイッチの工場出荷時の設定は、「パワーボタン」になっており、電源スイッチを押すと、電源を入れる/切る機能になっています。「スリープボタン」に設定し、電源スイッチを押すと、サスペンド/レジューム機能になります。(BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では、英語で表示されます。)この設定内容の詳細については、『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 システム設定」の「省電力の設定」をご覧ください。

MA46H/Sの場合は、『本機をお使いの方へ』「Power Management Setupの設定」をご覧ください。

③ セキュリティの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「Mate NXセキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

- ・ BIOS LOCK

■ パスワードを設定する

スーパーバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。

■ 指紋認証を利用する

別売の指紋認証(PK-FP002)を利用することで、本体起動時にBIOSレベルで指紋によるユーザー認証を行い、不正起動やBIOSの設定変更を確実に防止します。MA46H/Sは、指紋認証を利用したBIOS LOCKはできません。

■ スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダー/ライター(PK-SM001)とスマートカード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることができます。MA46H/Sは、スマートカードを利用したBIOS LOCKはできません。

・ I/Oロック

フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどを利用できないようにします。コンピュータウイルスの侵入を防いだり、パソコンのデータを無断コピーされたり、パソコンに悪影響を与えるおそれのあるアプリケーションなどのインストールを未然に防止することができます。

・ 筐体ロック

内蔵部品(メモリやハードディスク)の盗難や、スーパーバイザパスワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、錠をかけることができます。

④ データのバックアップの設定

・ Mastey Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまう、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップをとるようおすすめします。

本機にはハードディスクをバックアップするアプリケーション(Mastey Data Backup)が『バックアップCD-ROM(OSを除く)』に添付されています。MA46H/Lには添付されていません。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』ハードディスクドライブ、『活用ガイド ソフトウェア編』PART1 アプリケーションの概要と削除/追加の『Mastey Data Backup』をご覧ください。

- ・ BIOSセットアップメニュー

「システムのバックアップ警告」を設定すると、本機起動時にバックアップを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことができます。(MA46H/Sは、この機能を利用できません。)

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定の「セキュリティの設定」をご覧ください。

⑥ ハードディスクドライブの領域確保

工場出荷時に搭載されているハードディスクには、プライマリマスタとモデルによってはプライマリスレーブの2つがあります。工場出荷時にはプライマリマスタの第1パーティション(ドライブ番号:Cドライブ)として2GBの領域が確保されています。残りの領域は確保されていません。『活用ガイド ハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」をご覧になり、残りの領域を使用環境に合わせて確保してください。

⑥ ネットワークの設定

本機では工場出荷時のネットワークプロトコルは「NetBEUI」が設定されています。LANの設定を変更する場合は『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」をご覧ください。

⑦ 利用する添付アプリケーションの設定

- ・ VirusScan for Windows NT
- ・ Easy CD Creator Lite
- ・ DirectCD など

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan for Windows NT)が「バックアップCD-ROM(OSを除く)」に添付されています。またCD-RWドライブが搭載されているモデルでは、CD-RおよびCD-RWへデータを書き込むアプリケーション(Easy CD Creator Lite、DirectCD)が「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」に添付されています。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

⑧ 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)
- pcAnywhere 9.0 EX
- CyberAccess

本機には接続されているパソコンの情報を管理する機能(Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions))、遠隔地からパソコンを操作する機能(pcAnywhere 9.0 EX)、システム管理者向けと一般ユーザー向けの利用環境を設定する機能(CyberAccess)を提供するアプリケーションが「バックアップCD-ROM(OSを除く)」に添付されています。(MA46H/Lは、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)とpcAnywhere 9.0 EXは添付されていません。)

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

⑨ 上手な使い方

- トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』PART3 「トラブル解決Q&A」 「トラブルを予防するには...」をご覧ください。

- 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART4 「付録」 「本機のお手入れ」をご覧ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNEC/パナソニックフォーメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows NT 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Bookshelf、およびWindows NT ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Intel、PentiumおよびLANDeskは、米国および他の国々におけるIntel Corporationの登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジーを使用しています。

Celeronは、米国および他の国々におけるIntel Corporationの商標です。

Savage4は、S3社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 1999年10月

©NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。

808-877675-127-A



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率100%)を使用しています。